

お元気ですか

南 恵子

です

発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



東京都道 補助29号線計画は中止を

道路周辺に住む住民の反対の声が日に日に広がる

住民主催の集会に参加して実感

補助29号線沿線に住み続けている住民が立ち上げた「西大井・大井住民の会」が、5月24日に区の担当課長に住民の声を聞いてほしいとして開いた集会に南は参加しました。14～15人の方たちが発言しましたが、どれも東京都と品川区の進める道路建設計画には反対というものでした。住民不在で進める自治体の姿勢に問題提起しています。

**会場は超満員
用意した資料は足りず**

住民主催の説明会に参加した住民は、会場に入れない人が何人も出るほどでした。南は少し遅れていききましたので、その状況に先ずビックリ。やっと椅子をそろえて詰めてもらったので入れましたが、今度は、何人の方が発言し、どれも強引な進め方に対する批判的な意見だったのでまたビックリしました。

しかし、当然です。
終戦直後の計画を防災の名ですすめる

この補助29号線は、終戦直後の昭和21年に、焼け野原だったところに線を引いたものです。67年も経ち、すっかり街並みも定着し、住民のコミュニティが出来上がっているのに計画線上に住んでいる方だけでなく、沿線に住んでいる方も立ち退かなくて

はならず大変な問題です。
**住民不在の計画に意見が続出
住民こそ主人公を実感**

説明会では14～15人ほどの方から質問や意見が出されました。いくつか紹介します。「燃えない街ということには賛成だが、道路をつくることで燃えないという検証はされているのか」、「道路をつくと車が通る。発災したら車輪火災が次々に起きることをどう考えるのか」、「知らないまま家を買ってしまった。区の説明が不足している」などです。

街づくりは住んでいる住民とともにつくるもので、それを省いても当然としている東京都と品川区の姿勢は許されません。

この説明会に参加して、住民のみなさんが営々とつくりあげてきた自分たちの街を壊す計画に毅然と立ち向かう姿にエールを送ります。

新しい議会の構成が決まる

5月28日に臨時議会が開かれ、議長などの役職と委員会が新しく構成されました。

5月28日に臨時議会が開かれ、議長などの役職と委員会が新しく構成されました。

新議長は石田秀男議員(自)、副議長は武内忍議員(公)です。常任委員会は次の5委員会です。総務・区民・厚生・建設・文教。

① 契約のあり方に関すること
② 公有地の活用に関すること
③ 事務事業評価に関すること
④ 受益者負担に関すること

特別委員会は2の設置が決まりました。行革・震災対策

震災対策委員会の調査内容

総務委員会 鈴木ひろ子議員
区民委員会 中塚亮議員
厚生委員会 石田ちひろ議員(副委員長)
建設委員会 飯沼雅子議員
文教委員会 南恵子議員
行革委員会 南恵子議員
震災対策委員会 鈴木ひろ子議員(委員長)
中塚亮議員

は、震災対策に関することで、昨年度区が作成した地域防災計画の内容をさらに細かくみて拡充させることが大事です。

会派は5、無所属議員として2人

臨時議会に先立って会派届がだされました。

自民(11人)、公明(8人)、民主・改革ネット(7人)、みんな・無所属(6人)、共産(5人)、みんな・無所属から離れて会派に所属しない無所属議員として西本貴子議員、高橋しんじ議員という構成になりました。

区民の信託に応えた政務調査費の使用をする

政務調査費は、区民の税金から議員一人あたり月額19万

円支給されます。

昨年度、政務調査費について議会内で議論し、どこにも属さない無所属議員でも支給されるようになりました。今までは一人会派は認めないとして政務調査費を支給しないことになっていましたが、一人でも区民から選ばれたので、区民の信託に応えられるよう調査に必要な費用を受けて活動できるようにしたことは、共産党の主張でもありました。

日本共産党は、いち早く使途基準を設けてすべての使い先を領収書を公開して明らかにしようと呼びかけてきました。区議会のホームページですべての会派の使途を公開していきますので、ご覧ください。

生活・雇用・子ども子育て

教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523